

LIEBHERR

サイドバイサイド コンビネーション冷凍冷蔵庫 施工手順書

※機器は継続的に開発が進められています。型式・形状・備品および技術的な改良を加えることがありますので、あらかじめご了承ください。

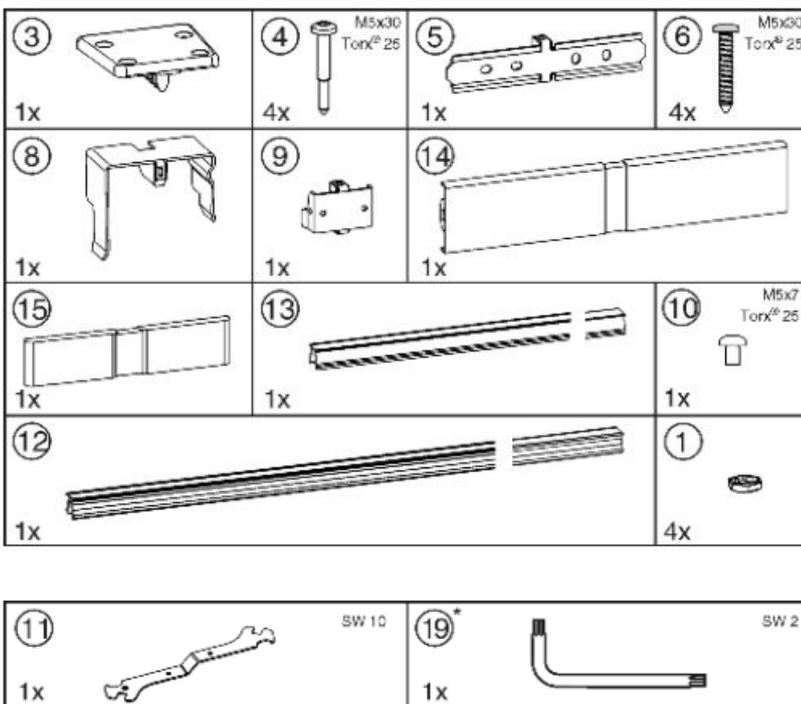
⚠ 注意 設置にあたっては、正しく取り付けるために以下にご注意ください。

- ・コンビ冷凍冷蔵庫は、冷凍室付きワインクーラーを左側、冷蔵庫を右側に設置してください。
冷凍室には内側に霜付防止用のサイドウォールヒーターがついています。
- ・取付ける前に、包装フィルムを全て取り外してください
- ・冷蔵庫と冷凍室付きワインキャビネット（以下、コンビ冷凍冷蔵庫と表記）の間は、10mm以内になるように設置してください。
- ・2台の前面は一直線に揃えて設置してください。

【下記の工具類が揃っている事を確認して下さい】

- － 水準器
- － 電動ドライバー
- － Torx 25 のドライバー
- － オープンエンドスパナー サイズ:10（機器に同梱されている）
- － 六角レンチ サイズ:2（機器に同梱されている）

【下記の組立用パーツが同梱されています】



コンビ冷凍冷蔵庫の設置方法

- * 機器を設置する前に、極力最終取付け位置に近い所に据えます。
- * 機器を移動させる際に、常に外側前部の角を持って下さい。
決して側面或いはドアを膝で押さないで下さい。

【注意】

結合された機器は移動の際には損傷するリスクが有ります。
機器は一度結合されると重くなります。
機器は不適切に移動されるとへこんだりする危険があります。

機器の前面 - 1

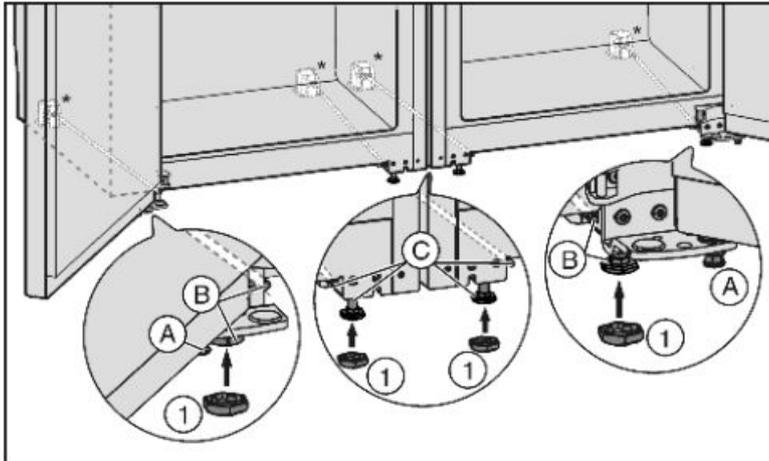


図4

- ・両方の機器の前面の高さ調整ネジ 図4A)を完全に引っ込めて、床に接地しないようにします。
- ・4つの前面高さ調節ネジの上にキャップ 図4(1)を置きます。
- ・両方の機器を一緒に約10mm押し込み、前面が同一面になるようにします。

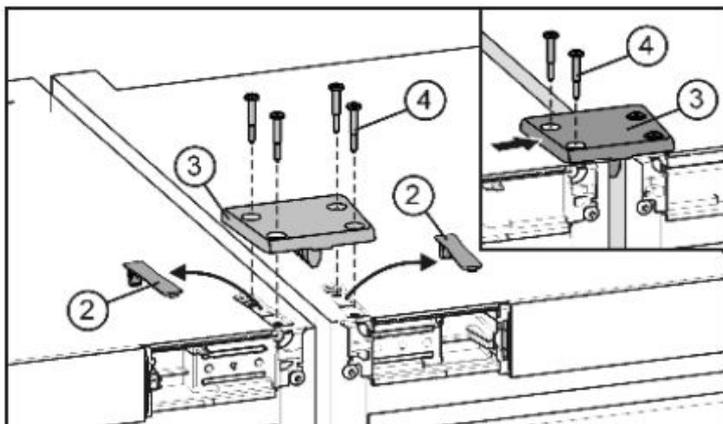


図5

- ・カバー 図5(2)を緩めて外します。
- ・接合プレート③は自動的に機器の高さを調節します。
接合プレート 図5(3)を指定の場所に置き、それを緩く2本のネジ図5(4)で一方の機器に固定します。
- ・接合プレートを横に動かして、プレートのセンター・バーを機器の側面に置きます。

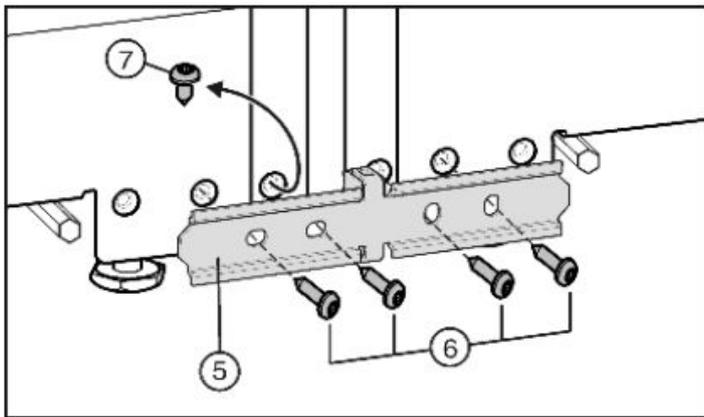


図6

- ・接合プレートと図6(5)を緩く一方の機器に2本のネジ 図6(6)で固定します。
- ・接合プレートを横方向に動かし、プレートのセンター・バーを機器の側面に置きます。ネジをしっかりと締めます。
- ・次に接続プレートを他の機器にネジ止めします。前に行なった様に、両機器を一緒に、或いは別々に必要に応じて移動させます。

機器の背面

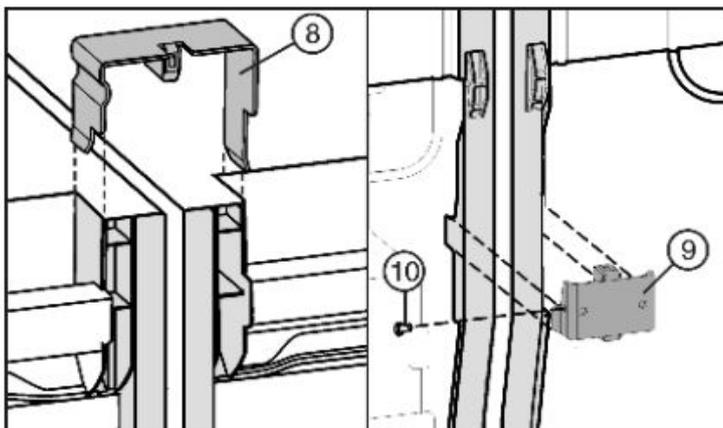


図7

- ・接合クランプ 図7(8)を側面中央の最上部に差し込みます。
- ・接合アングル図7(9)を背面下部に差し込みます。接合アングルが緩すぎる場合は、ネジ図7(10)で固定します。

【注意】

振動ノイズを避ける為に、クランプだけでなくネジも機器の後ろのチューブと触れないように確認してください。

機器の前面 - 2

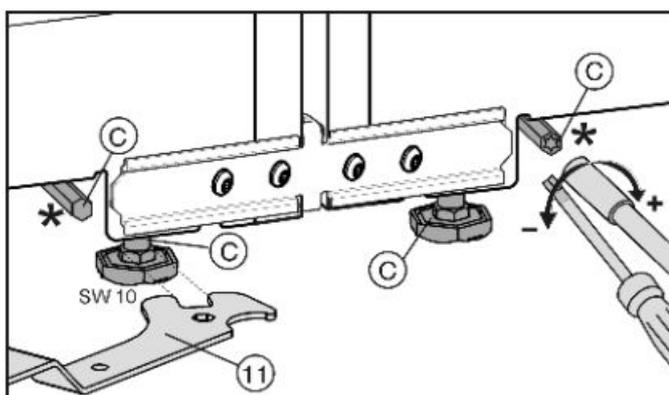


図8

- ・付属のパッケージに入っている万能型スパナ図8(11)で前面の高さ調節足を、又後面の高さ調節足をTorx25のドライバーで調節できます。
- ・センターの高さ調節足 図4(C)を引っ込めて床と触れないようにします。
- ・外部の高さ調整足図4(B)を使ってそれぞれの機器を水平にします。

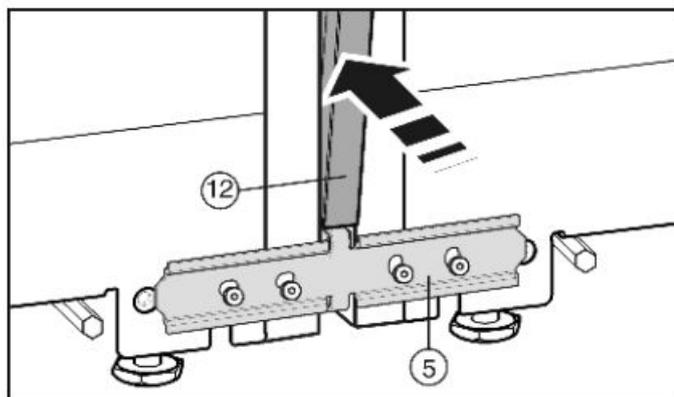


図9

- ・長いカバー図9(12)を縦の隙間に押し込みます。
表面をへこませたりしないように、カバーを押し込む時に柔らかい布を使います。
カバーを隙間に、最適に接合する為に、注意深く、真っ直ぐに押し込みます。
- ・カバーが接続プレート図9(5)の上端に位置する事を確認します。
カバーの保護フィルムを剥がします。

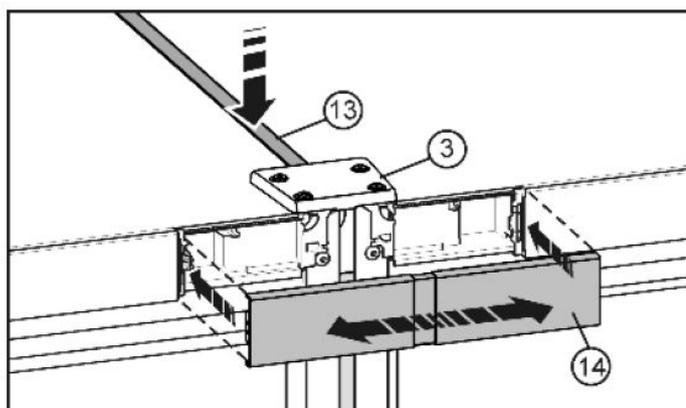


図10

- ・機器の上部に、短いカバー図10(13)を隙間に押し込みます。
カバーの前端部が接続プレート図10(3)と同一面になる事を確認します。
- ・カバー図10(14)を2つのコントロール・パネル・カバーの間の隙間の上に 留めます。
- ・カバーのサイドの縁が、コントロール・パネル・カバーと同一平面になる事を確認します。

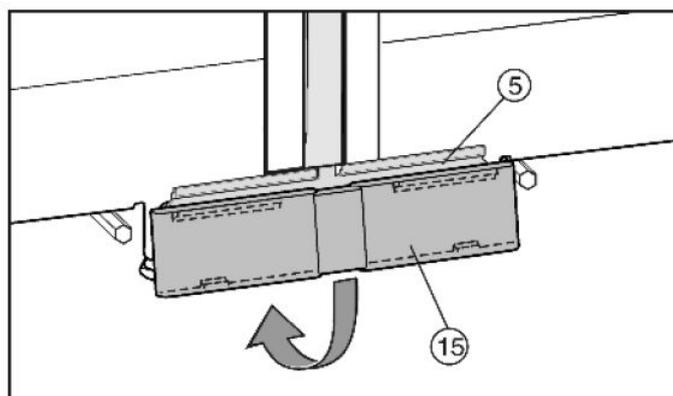


図11

・底部カバー図11(15)を接続プレート図11(5)の上に合わせて、底部でパチッと留めます。

・機器をマニュアルに従って固定の給水に接続します。

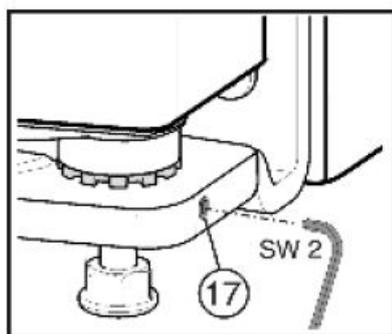


図12

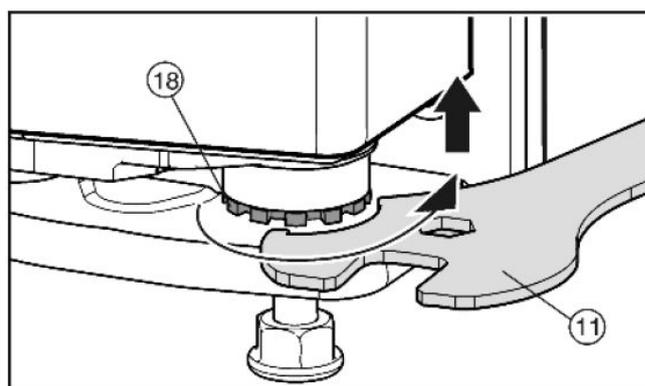


図13

・中央の高さ調節ネジ図4(C)を床に設置するまで下げます。

・高さ調節ネジ図4(A)をヒンジが曲がっている所で、床に着くまで伸ばして、更に90°C曲げます。

・ドアは、外側の底部にあるヒンジで高さを調節出来ます。
ピン図12(17)を(最大で一回転)回します。

・ドアを持ち上げる為に、ベアリング・ピン図13(18)を時計方向に同梱されているオープン・エンド・スパナーを使って回します。
開梱時は、ベアリング・ピンは完全にねじ込まれています。

・ピン図12(17) を再度ベアリング・ピンを確かにする為に、しっかり固定します。